

# シルバー音楽部だより

令和8年7月4日

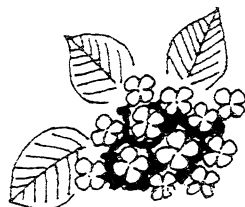
蒸し暑い毎日ですが、皆様お元気でお過ごしのことと思います。  
シルバーの活動も4ヶ月目となりました。前回から「わかうた」に入りました。  
林古溪の詩の心をストレートに歌い上げることのできる様な旋律です。  
大らかな気持ちで歌っていきたいですね。

## 1. 日程

7月18日

9月5日

9月19日



## 2. 新入生紹介

池田文子さん  
上野とし子さん

♪ 皆さんでサポート  
よろしくお願いします

## 3. 「かなりや」について

作詞の西条八十は詩人であり、仏文学者でもあります。大正から昭和にかけて童謡や流行歌の作詞で知られています。この「かなりや」は童謡なのに「うしろの山にすてましょか」など、子どもの歌としてはちょっと怖いんですね。八十はなぜこのような歌詞を書いたのか、わかる記事があったのでご紹介します。『詩を書いた西条本人が、自分自身をかなりやに見たてていたと察せられる。実は生活苦の中、詩人になる志から遠ざかりかけていた時に書かれているのだ。自らをかなりやと重ね合わせたこの詩では、詩人の夢を諦めたわけでもないという気持ちが、終わりの方の「象牙の舟に銀のかい〜 忘れたうたを思い出す」という所に表われている。その後詩人として地位を確立してからは、「肩たたき」「鞠と殿さま」「青い山脈」「東京音頭」などの名曲を生み出している。』

## ✦-✦-✦ 伝言板 ✦-✦-✦

先日、北海道に行ってきました。札幌での用事を兼ねての旅行でした。  
2日目は摩周湖方面に行く計画で道東へ移動しました。釧路への移動は4時間以上かかって大変でした。けれど行ってよかったです。  
摩周湖は霧がかかって見えないことが多い神秘的な湖で、何回か行っても1回も見られない方もいるそうです。何と今回、初めてにして、美しく鮮明な湖の姿を見ることができ、ラッキーでした。布施明の歌をきいて、昔から憧れていました。♪「霧にだけかれて静かに眠る〜」山の懷に抱かれ、摩周ブルーの水をたたえた美しい湖は深く心に残りました。

梅雨明けまでしばらくかかりそうです。どうぞお体お大事にお過ごし下さい。